

「蒲神明宮の歴史と行事」

講座

そでし が もり かみがみ

袖紫々森の神々

蒲神明宮の創建は、大同元年(806)年とされています。藤原鎌足の子孫、藤原静並が伊勢神宮の神託を受け、蒲の地を開拓し、伊勢神宮に「蒲御厨(かばのみくりや)」として寄進しました。そして、この地に伊勢神宮より分霊をお迎えして神明宮を創設したと伝えられており、いつの頃からかこの地域では「ごしん様」と呼ばれて親しまれています。

長い歴史を持つ蒲神明宮について、源範頼、蒲ザクラとの関連についてもお話いたします。



日時：3月15日(日)

午前10時～11時30分

場所：蒲協働センター1階ホール

講師：桶田 忠正 氏

(浜松観光ボランティアガイドの会、
蒲神明宮氏子総代)

定員：50名

無料

申し込み：2月20日(金)午前9時～

東図書館カウンターまたは電話にて受付



浜松市立東図書館

指定管理者：(株)図書館流通センター

中央区子安町309-1 電話：053-464-2081